



岩手県議会です どうぞよろしくお願ひします

9月22日臨時会後に撮影(高橋但馬議員欠席)



❖ いわて県議会だより

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY



令和5年9月
臨時会・定例会

第188号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テーパー版・デジター版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより第182号」から、音声データを岩手県議会ホームページに掲載しています。第188号のデータは、1月上旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



©わんこきょうだい

第1回臨時会

工藤大輔議長、飯澤匡副議長を選出 常任委員会等の構成決まる

議員改選後、最初の臨時会が9月20日(水)から22日(金)までの3日間の会期で開催されました。初日の本会議では、議長および副議長の選挙、常任委員の指名などが行われました。

議長・副議長あいさつ

工藤 大輔 議長

ただいま、皆様方の御推挙をいただき、岩手県議会議長に選任いただきました、工藤大輔でございます。大任を押し、光栄に存じますとともに、職責の重さをひしひしと感じているところであります。

二元代表制の一翼を担う県議会として、議会と県御当局との真摯な議論を通じ、県政の諸課題に有効な施策が図られ、県民の幸福感が高まるよう努めてまいりたいと思ひます。

今日まで歴代の議長が残された功績に学び、公正かつ円滑な議会運営を旨とし、県民の期待に応えられるよう、一意専心、開物成務の精神で取り組んでまいります。

先輩、同僚議員の皆様方の温かい御指導、御支援、並びに、達増知事をはじめとする執行部各位の御協力を心からお願い申し上げ、就任の御挨拶といたします。



工藤大輔議長

飯澤 匡 副議長

ただいま、不肖私が副議長の大命を賜りましたことは、誠に光栄にたえません。

また、責任の重大さを痛感いたし、身の引き締まる思いでございます。

もとより、微力ではございますが、議長を補佐し、県勢発展のため、公正で円滑な議会運営に努め、県民の負託に応えられるよう、全力を尽くしてまいります所存でございます。

何とぞ、先輩、同僚議員の皆様方の御支援、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。就任に当たっての御挨拶といたします。



飯澤匡副議長

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

◎人事議案【同意】

監査委員の選任に関し同意を求めることについて

◎委員会提出議案【可決】

東日本大震災津波復興特別委員会の設置について



ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・
問い合わせ先

岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022 FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp



岩手県庁の隣です

議員の紹介

①盛岡選挙区(定数11)



うえはら やすき
上原 康樹
【希望いわて】



よしだ けいこ
吉田 敬子
【いわて新国会】



こにし かずこ
小西 和子
【希望いわて】



たかはし たじま
高橋 但馬
【いわて新国会】



さいとう しん
斉藤 信
【日本共産党】



かるいし よしのり
軽石 義則
【希望いわて】

盛岡選挙区

②宮古選挙区(定数3)



たかはし こうすけ
高橋 こうすけ
【自由民主党】



ふくい せいじ
福井 せいじ
【自由民主党】



こばやし まさひろ
小林 正信
【公明党】



すずき あきこ
鈴木 あきこ
【自由民主党】



むらかみ こういち
村上 貢一
【いわて県民クラブ・無所属の会】



じょうない よしひこ
城内 愛彦
【自由民主党】

宮古選挙区

③大船渡・陸前高田選挙区(定数2)

④花巻選挙区(定数4)



ささき のぶひろ
佐々木 宣和
【自由民主党】



ひやま しげる
富山 茂
【希望いわて】



ちば せいき
千葉 盛
【いわて新国会】



ささき しげみつ
佐々木 茂光
【自由民主党】



かわむら しんこう
川村 伸浩
【自由民主党】



なすかわ しん
名須川 晋
【希望いわて】

花巻選挙区

⑤北上選挙区(定数4)



ささき じゅんいち
佐々木 順一
【希望いわて】



きむら ゆきひろ
木村 幸弘
【社民党】



せきね としのぶ
関根 敏伸
【希望いわて】



さいとう けいこ
佐藤 ケイ子
【希望いわて】



たかはし やすゆき
高橋 穂至
【自由民主党】



たかはし はじめ
高橋 はじめ
【希望いわて】

⑥久慈選挙区(定数2)

⑦遠野選挙区(定数1)

⑧一関選挙区(定数5)



くどう だいすけ
工藤 大輔
【いわて新国会】



なかひら ひとし
中平 均
【いわて新国会】



はぎ ゆきひろ
はぎの 幸弘
【自由民主党】



かみがき ひろゆき
神崎 浩之
【自由民主党】



いわぶち まこと
岩渕 誠
【希望いわて】



ささき ともかず
佐々木 朋和
【いわて新国会】

一関選挙区

⑨釜石選挙区(定数2)

⑩二戸選挙区(定数2)



いざわ ただし
飯澤 匡
【いわて県民クラブ・無所属の会】



たかだ いちろう
高田 一郎
【日本共産党】



いわさき ともかず
岩崎 友一
【自由民主党】



おおくほ たかのり
大久保 隆規
【希望いわて】



いつかいち おう
五日市 王
【希望いわて】



たなか たつや
田中 辰也
【無所属】

⑪八幡平選挙区(定数2)

⑫奥州選挙区(定数5)



くどう つよし
工藤 剛
【いわて県民クラブ・無所属の会】



ちば つとむ
千葉 伝
【自由民主党】



ごうこん ひろし
郷右近 浩
【希望いわて】



かんの ひろのり
菅野 ひろのり
【希望いわて】



ちば ひでゆき
千葉 秀幸
【希望いわて】



すがわら りょうた
菅原 亮太
【自由民主党】

奥州選挙区

⑬滝沢選挙区(定数3)

⑭紫波選挙区(定数2)



ささき つとむ
佐々木 努
【いわて県民クラブ・無所属の会】



みほこ
ハクセル 美穂子
【いわて県民クラブ・無所属の会】



やなぎむら まこと
柳村 一
【希望いわて】



まつもと たけし
松本 雄士
【自由民主党】



うすざわ つとむ
臼澤 勉
【自由民主党】



むらかみ ひでのり
村上 秀紀
【自由民主党】

議会運営委員名簿 (令和5年9月20日現在)

◎委員長 ○副委員長

区分	希望いわて	自由民主党	いわて新政会	いわて県民クラブ・無所属の会
氏名	名須川 晋 岩 渕 誠 柳 村 一 大久保 隆 規	◎城 内 愛 彦 福 井 せいじ 高 橋 穂 至 はぎの 幸 弘	○佐々木 朋 和	佐々木 努

各種名簿 (令和5年10月4日現在)

情報公開審査会	会 長 神 崎 浩 之 委 員 大久保 隆 規 千 葉 盛	会長代理 柳 村 一 村 上 秀 紀 ハクセル美穂子
広聴広報会議	座 長 千 葉 秀 幸 構 成 員 畠 山 茂 工 藤 剛	副 座 長 高橋 こうすけ 鈴 木 あきこ 吉 田 敬 子
議会改革推進会議	座 長 佐々木 茂 光 構 成 員 千 葉 秀 幸 村 上 貢 一	副 座 長 菅野 ひろのり 松 本 雄 士 中 平 均

常任委員名簿 (令和5年9月20日現在)

◎委員長 ○副委員長

区分	希望いわて	自由民主党	いわて新政会	いわて県民クラブ・無所属の会	日本共産党	会派に所属しない議員
総務委員会 (10人)	高 橋 はじめ 名須川 晋 岩 渕 誠 ◎千 葉 秀 幸	千 葉 伝 城 内 愛 彦 ○はぎの 幸 弘 村 上 秀 紀	佐々木 朋 和	ハクセル美穂子		
文教委員会 (10人)	関 根 敏 伸 小 西 和 子 ◎上 原 康 樹	岩 崎 友 一 川 村 伸 浩 ○高橋 こうすけ	工 藤 大 輔	飯 澤 匡	斉 藤 信	小 林 正 信 (公明党)
環境福祉委員会 (9人)	佐 藤 ケイ子 柳 村 一 ○畠 山 茂	福 井 せいじ ◎佐々木 宣 和 鈴 木 あきこ	吉 田 敬 子	佐々木 努		木 村 幸 弘 (社民党)
商工建設委員会 (9人)	五日市 王 郷右近 浩 軽 石 義 則	神 崎 浩 之 ◎臼 澤 勉 高 橋 穂 至	中 平 均	○工 藤 剛		田 中 辰 也 (無所属)
農林水産委員会 (10人)	佐々木 順 一 菅野 ひろのり ○大久保 隆 規	佐々木 茂 光 松 本 雄 士 菅 原 亮 太	高 橋 但 馬 ◎千 葉 盛	村 上 貢 一	高 田 一 郎	

特別委員名簿 (令和5年11月2日現在)

◎委員長 ○副委員長

区分	希望いわて	自由民主党	いわて新政会	いわて県民クラブ・無所属の会	日本共産党	会派に所属しない議員
人口減少・若者女性支援調査特別委員会 (12人)	関 根 敏 伸 ◎小 西 和 子 岩 渕 誠 佐 藤 ケイ子	千 葉 伝 城 内 愛 彦 ○はぎの 幸 弘 鈴 木 あきこ	千 葉 盛	佐々木 努	高 田 一 郎	木 村 幸 弘 (社民党)
デジタル社会・新産業創出調査特別委員会 (11人)	名須川 晋 柳 村 一 千 葉 秀 幸 ○畠 山 茂	神 崎 浩 之 臼 澤 勉 ◎高橋 こうすけ 菅 原 亮 太	佐々木 朋 和	飯 澤 匡		田 中 辰 也 (無所属)
脱炭素社会調査特別委員会 (12人)	佐々木 順 一 高 橋 はじめ 軽 石 義 則 ○大久保 隆 規	佐々木 茂 光 佐々木 宣 和 ◎高 橋 穂 至 村 上 秀 紀	中 平 均	工 藤 剛	斉 藤 信	小 林 正 信 (公明党)
観光・交通政策調査特別委員会 (12人)	五日市 王 郷右近 浩 菅野 ひろのり 上 原 康 樹	岩 崎 友 一 川 村 伸 浩 福 井 せいじ 松 本 雄 士	高 橋 但 馬 ◎吉 田 敬 子	ハクセル美穂子 ○村 上 貢 一		

※各名簿の会派の順序は、所属議員数の多い順とし、同数の場合は50音順としています。

9月定例会

9月定例会は、10月4日から11月2日まで開催されました。知事から提出された令和4年度岩手県一般会計決算や特別会計決算など15件を認定したほか、令和5年度岩手県一般会計補正予算(第3号)や予算関連議案など、24件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した意見書など14件の議案は全て可決されました。また、請願は5件が採択、5件が不採択となりました。

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

■知事提出議案

- ◎令和4年度決算【認定】
一般会計1件、特別会計10件、事業会計4件
- ◎令和5年度補正予算【可決】
一般会計1件、特別会計6件
- ◎予算関連議案【可決】
農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関する議決の変更に関し議決を求めることについてなど3件

◎条例議案【可決】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部を改正する条例など4件

◎その他の議案【可決】

本銅口の沢筋田畑地区砂防堰堤工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど9件

◎人事議案【同意】

教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

■委員会提出議案【可決】

条例1件、意見書9件、特別委員会の設置4件(詳細は6ページに記載)

■請願

採択5件、不採択5件(詳細は5ページに記載)

県政に関する質問から

10月12日から10月17日まで行われた代表質問と一般質問では、13名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

10/12(木) 代表質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会議中継」で検索してご覧いただけます。
※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。



1人目

希望いわて

かるいし よしのり
軽石 義則 議員

◆盛岡選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



2人目

自由民主党

うすざわ つとむ
臼澤 勉 議員

◆紫波選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



3人目

いわて新政会

なかたい ひとし
中平均 議員

◆久慈選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



県立病院におけるハイボリュームセンターの整備

問 県立病院は、新型コロナウイルス感染症の対応においても、医師会や他の医療機関とともに、大きな役割を担ってきた。医師不足や地域偏在の状況において、限られた医療資源のもと、広大な県土を有する本県で、全国1位の病院数を有する県立病院の果たす役割は、今後ますます重要になってくる。厳しい経営状況にありながらも、病院事業のハード面への投資も含めて施設整備を推進する必要があるのではないか。

知事はマニフェスト+39において、県立病院の計画的な更新と併せ、症例数や手術数が多い病院、いわゆるハイボリュームセンターの整備を進めるとしているが、その狙いと今後の整備方針について伺う。

答 人口減少や医療の高度・専門化など、医療を取り巻く環境の変化の中で、身近な医療を地域の中で受けられる体制を確保しつつ、限られた医療資源を効率的に活用していくという視点が、県立病院においても求められていると考えている。マニフェスト+39で取り上げた、ハイボリュームセンターの整備については、県内で高度・専門的な医療を安定的に提供できる体制を確保していくため、まずは中核となる病院に、疾病・事業別医療圏の設定などに対応して一定の機能集約を図り、症例数や手術数を確保していくことを検討している。

こうした取り組みを進めながら、将来のさらなる施設整備について検討していく。



手術支援ロボットを使用した手術の様子

農業における物価高騰対策

問 選挙期間中、農業生産資材などの価格高騰に対する生産者の悲痛な声を知事も聞いたと思う。生産者個々の経営努力では対応できない、現在の厳しい経営状況を克服するため、喫緊の対応として生産資材高騰対策が必要と考える。

国の経済対策だけでは対応できないものもある中で、飼料や生産資材価格高騰による経営への影響をどう把握し、具体的な対策としてどのように取り組んでいくのか伺う。

答 県では、これまで全国知事会と連携しながら、国に対し生産資材などの価格高騰対策の拡充などを提言するほか、農業経営の安定に向け、肥料や飼料の価格上昇分を補てんする国事業の活用を積極的に進めるとともに、県独自に累次の補正予算によって、肥料や飼料購入費への支援などを実施してきた。

令和5年8月現在の農業生産資材の価格を見ると、高騰前の令和2年と比べて肥料、飼料ともに約4割高い状況となっており、農業者は依然として厳しい経営環境に置かれている。

このため、これまで措置した肥料や飼料購入費などへの支援を迅速かつ確実に実施するとともに、さらに必要となる対策について、現在、検討が進められている国の経済対策の動向も踏まえながら、農業経営が安定するよう機動的に対応する。生産コストのさらなる低減に向けては、化学肥料の使用量を低減する堆肥などの地域資源の活用や、飼料基盤を積極的に活用した自給飼料の生産にも引き続き取り組んでいく。



農業(イメージ)

河川の洪水対策

問 近年の気候変動により、全国的に自然災害が激甚化・頻発化している。岩手県においても同様の傾向であり、短時間強雨の発生頻度も増加し、台風や大雨など立て続けに大きな災害が発生している。今後も気候変動の影響は続くと思われる、今回の補正予算案にも河川等災害復旧費が盛り込まれているが、早期の復旧が必要である。

河川の堆積土砂の撤去や立ち木伐採などについて、災害が起きてから応急的に実施するのではなく、被害低減のため、例えば5年に一度などローテーションで定期的実施し、備えておく方法をとるべきと考えるが、いかがか。

答 河川の堆積土砂の撤去や立ち木伐採については、出水による河道の状況変化などにより機動的な対応が必要となる箇所もあることから、緊急性の高い所から優先的に実施している。

県が管理している河川の数300を超えており、全ての河川を一定期間で実施することは難しい状況であるが、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」の国費や、「緊急浚渫推進事業債」などの財政支援策を積極的に活用し、事業を推進してきた。

今後も堆積土砂の撤去などの実施に必要な予算の確保について、引き続き国に働きかけながら、近年、激甚化・頻発化する自然災害から県民の生命や財産を守るため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の考え方を踏まえた防災・減災対策を推進していく。



河川管理(久慈川河道掘削)の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事選挙の所感及び知事のマニフェスト
- 2 第2期アクションプラン及びマニフェスト+39を支える行財政基盤
- 3 人口減少対策
- 4 福祉と生活を支える一元的な相談支援体制の構築とまちづくり ほか

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 県の行財政運営
- 2 人口減少対策
- 3 県庁舎の建て替え
- 4 米からの経営転換

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の5期目への方針
- 2 物価高騰対策
- 3 県北・沿岸振興
- 4 医療体制 ほか

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。
★請願の件名は請願書のとおり記載しています。

◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を国へ求める意見書提出の請願
- ▶保育所等の職員配置基準改善等を求める請願
- ◎採択
- ▶児童、生徒及び保護者に向けたマスク着用の影響についての情報の周知徹底を求める請願(文教委員会付託分)
- ▶児童、生徒及び保護者に向けたマスク着用の影響についての情報の周知徹底を求める請願(環境福祉委員会付託分)
- ▶福祉灯油の全市町村での実施を求める請願

◎不採択

- ▶「令和5年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(医療分)」の継続と拡大を求める請願
- ▶インフォームド・コンセント理解増進条例等の制定を県に求める請願
- ▶新型コロナウイルスワクチン接種の効果検証を求める請願
- ▶新型コロナワクチンの乳幼児及び小児接種における慎重な対応を求める意見書提出の請願
- ▶岩手県議会に提出された請願・陳情等の議会ホームページでの公開を求める請願

10/12(木) 代表質問

4人目
いわて県民クラブ・無所属の会
佐々木 努 議員
◆奥州選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

産科医師の確保の見通し

問 全国的に産科医の不足が叫ばれているが、岩手にとっては他県以上に深刻な状況と言わざるを得ない。現実に奥州・金ケ崎地域には出産可能な産科施設が一つもない状況で、一日も早く出産できる環境を整えてほしいというのが地域住民の切なる願いである。

県は、これまで産科医師の確保に取り組んでいるが、今後の奥州・金ケ崎地域における産科医師の確保の見通しと、県内各医療圏の医師の確保の見通しについて伺う。

答 県では、限られた医療資源で、効率的かつ質の高い周産期医療を提供するため、4つの周産期医療圏を設定し、地域の産科診療所や周産期母子医療センターとの機能分担と連携のもと、分娩リスクに応じた医療提供体制の整備を進めてきた。また、医療局医師養成事業に産婦人科特別枠の設置や、周産期医療母子センターへの配置による義務履行とキャリア形成の両立を可能とする特例措置など、産科を選択する医師の確保に努めている。

現在、県内10カ所の周産期母子医療センターには養成医師10名を含む64名の産科医師がおり、うち奥州・金ケ崎地域を含む岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏の周産期母子医療センターには15名が勤務している。

県では今年度、産科などの診療科について、新たに市町村医師養成事業に7名の地域枠を設置したところであり、引き続き周産期母子医療センターの産科医師を確保し、安心して妊娠・出産ができる周産期医療の充実に努めていく。



妊婦健診の様子(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の公約と今後の県政運営
- 2 人口減少対策
- 3 子育て環境日本一を目指す宣言
- 4 学校給食費の無償化

10/13(金) 一般質問

1人目
自由民主党
佐々木 宣和 議員
◆宮古選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

地球温暖化対策

問 地域脱炭素は、経済を循環させ、地方創生に貢献できるものであり、広げるには市町村が計画を策定することが重要である。市町村に計画策定の必要性やメリットを丁寧に説明し、県と市町村との連携を図っていく必要があると思うが、現状と見込みを伺う。

併せて、GX推進プロジェクトが地域脱炭素移行・再エネ推進交付金に採択されたが、県として脱炭素を加速させていく施策を伺う。

答 市町村実行計画の区域施策編は、国の交付金の活用にも必要であり、これまでに県内7市町で策定されている。今年度からは計画の策定経費に対する補助も行っており、県市町村GX推進会議の中でさらなる策定を促している。その結果、新たに9市町村が今年度中に、さらに6市町が来年度中に計画を策定する予定であり、来年度末には県内22市町村で策定済みとなる見通しである。

また、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」については、本県が温室効果ガスの削減に意欲的な目標を掲げる中、今年度、政府の重点対策加速化事業に本県が採択され、今後、6年間にわたって重点的な支援を受けることになっている。この交付金を活用し、県立高校や合同庁舎におけるLED照明の導入などを行っているほか、事業者支援として自家消費型太陽光発電設備の導入補助などを行っている。

さらに、来年度は省エネ住宅の普及にも交付金を活用できないか検討しており、地域全体の脱炭素化を積極的に進めていく。



県市町村GX推進会議の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策
- 2 商工業の振興
- 3 地域医療
- 4 教育振興 ほか

2人目
希望いわて
いつかいちおう
五日市 王 議員
◆二戸選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

県北地域への産業技術短期大学の
新設

問 知事が今回の選挙戦で掲げたマニフェスト+39では、産業技術短期大学の県北地域への新設について盛り込まれているが、県では、令和2年度に北いわて産業技術人材育成強化構想検討会議を立ち上げ、二戸高等技術専門校を短大化する方向性を確認したとの報道があった。産業技術短期大学の新設は、地元の魅力ある人材育成の場を提供し、地域産業と密着した人材を育てることで、若者の域外流出を食い止め、地元就職や、産業を担う人材の安定的な確保に貢献できるものと大きな期待を持っている。同校の新設について、どのような姿を描いているのか。また、今後どのように進めていくのか伺う。

答 県北地域への産業技術短期大学の新設は、北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクトに盛り込まれている、企業等の中核人材など地域産業の未来を担う人材の育成にも関連すると考えている。また、全国的な人口減少の進展に伴い、本県でも産業人材の確保が課題となっており、県北地域に加え、県全体で産業人材をどのように育成・確保していくのかという観点から、産業技術短期大学のみならず、高等技術専門校を含めた県立職業能力開発施設のあり方と併せて示していくことも必要である。このため、北いわて産業技術人材育成強化構想検討会議における議論を踏まえ、現在、策定を進めている県立職業能力開発施設再編整備計画の中で、さらに市町村や地域の方々の意見を丁寧に伺いながら検討を進めていく。



産業技術短期大学
(矢巾キャンパス)

(水沢キャンパス)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事のマニフェスト
- 2 今後4年間の県北振興の位置付け
- 3 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト
- 4 県立高等学校の整備

10/13(金) 一般質問



3人目
自由民主党
たかはし やすゆき
高橋 穩至 議員
◆北上選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



いわてに若者が定着することを 目指した取り組み

問 市町村に一定額を交付し、県内全域で人口減少対策という同じ目標に取り組めるような仕組みを作ってはどうか。

広域振興局には地域経営推進費があるので、これを拡充するなどして、全ての市町村において、地域に若者が定着する、または地域外から呼び込む事業を実施できるよう、取り組みを強化してはどうか。その上で、広域振興局と市町村がノウハウを共有し、まちの活性化を図りながら、人を残していく働きかけをしてはどうか。

答 地域経営推進費について、令和5年度の当初予算では、県事業が1億6,000万円、市町村事業が2億7,000万円、広域連携事業が2,000万円、県全体で、合計4億5,000万円という予算規模になっている。県事業では、地域経営のために必要な細かい部分にも活用できる広域振興局長裁量の事業がある。

また、市町村事業については、地域づくり、人口減少対策も含めて市町村において事業を考え、それに対して補助できるという制度で運用している。その中で、若者の県内定着や、県外からの移住定住に資する事業も行われている。

さらに、各広域振興局においては、各市町村と人口減少対策を進めるためのワーキングによる検討を実施し、来年度の方向性などについて協議している。

引き続き、各広域振興局で機動的に地域の特色ある事業を展開できるように、必要な予算を確保するよう努めていく。



若者による議論の様子(イメージ)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 知事の「岩手県政の軌跡」
- 2 人口減少対策
- 3 若者・女性の県内定着推進対策
- 4 持続可能で希望ある医療体制の構築 ほか

10/16(月) 一般質問



1人目
希望いわて
やなぎむら まこと
柳村 一 議員
◆滝沢選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



若年層の県内就職状況

問 岩手労働局によると、新規高等学校卒業予定者の県内就職率は、平成25年3月卒から令和5年3月卒までは徐々に上昇しているが、新規の大学卒業予定者、短大卒業予定者及び専修高等学校卒業予定者についてはそれぞれ低下しており、最大限の取り組みが必要である。

人口減少対策の根幹をなす若年層の県内就職率向上のため、今後どのような取り組みを行っていくのか伺う。

答 若年層の県内就職率の向上のため、小学生段階からの工場見学や、高校生と県内企業を結び付けるワークショップをはじめとした県内企業の認知度向上に向けた様々な取り組みを展開しており、引き続きより効果的なものとなるよう工夫を重ねながら継続していく必要があると考えている。

今般、制度の見直しにより、インターンシップと採用を結び付けることが可能になったことから、県内企業実施の拡大に向けた支援や、就職マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」にインターンシップ情報を取り入れるなどの取り組みの強化を進めている。さらに、高校生の進学希望者を対象とした県内大学等と県内企業が出展する合同説明会を開催し、県内の大学や産業技術短期大学校への進学者の増加を図るとともに、令和4年度から新たに、一旦、岩手を離れる高校生に対して、大学卒業後に岩手に戻ることを選択するきっかけにつなげる取り組みも実施している。



合同説明会(未来のワタシゴト探究会議)の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策
- 2 移住定住、U・Iターンの推進
- 3 教員の確保
- 4 地球温暖化対策



2人目
自由民主党
はぎ ひろゆき
はぎの 幸弘 議員
◆遠野選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



中小企業の製造コスト上昇への対応

問 令和5年度の地域別最低賃金改定額の全国加重平均額が初めて1,000円を超え、賃上げにより企業の人件費が著しく増加し、エネルギーコストや物資の高騰などと相まって経営がひっ迫する事態を招くことも懸念される。昨今の物価高による賃金の引き上げ要望は理解するが、この急激とも言える製造コストの上昇ペースが今後も続くのであれば、財政的に余力のない中小企業の多くが苦境に陥ることは明らかである。

この点を県はどのように受け止め、どのような対策を講じようと考えているのか。

答 県が令和5年8月末時点で実施した調査では、エネルギー価格・物価高騰等の影響が継続している事業所は約9割となっている。また、原料・資材高騰への対応や価格転嫁、賃金の引き上げを現在の経営課題とする事業所の割合が高く、中小企業にとってコスト増への対応が大きな課題になっていると受け止めている。

この課題に対応するため、県内の経済団体、労働団体及び行政機関の連名で、「価格転嫁の円滑化による地域経済の活性化に向けた共同宣言」を行うなど、適切な価格転嫁に向けた環境整備を図っている。

また、6月補正予算で中小企業者等賃上げ環境整備支援事業費補助を措置し、賃上げに取り組む中小企業の設備投資を支援するとともに、「パートナーシップ構築宣言」を行うことを要件とし、その普及拡大を図っている。



価格転嫁の円滑化による地域経済の活性化に向けた共同宣言署名式

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 農業の担い手育成
- 2 建設業における人材確保対策
- 3 医療・介護分野における課題
- 4 少子化対策と次世代育成

委員会が提出した議案

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では条例1件、意見書9件、特別委員会の設置4件が可決されました。

可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎条例

▶特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎意見書

- ▶不登校児童生徒の多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書
- ▶保育所等の職員配置基準改善等を求める意見書
- ▶燃料油価格高騰に対する抜本的な対策を求める意見書

- ▶ALPS処理水の海洋放出開始に伴う安心の確保と風評対策を求める意見書
- ▶地方の中小企業・小規模事業者及び農林水産業におけるデジタル化支援の充実を求める意見書
- ▶脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書
- ▶若者及び子育て世代への経済的支援の強化を求める意見書
- ▶産前・産後サポート、産後ケア体制の支援強化を求める意見書
- ▶畜産経営安定のための対策と緊急支援を求める意見書

◎特別委員会の設置

- ▶人口減少・若者女性支援調査特別委員会の設置について
- ▶デジタル社会・新産業創出調査特別委員会の設置について
- ▶脱炭素社会調査特別委員会の設置について
- ▶観光・交通政策調査特別委員会の設置について

10/16(月) 一般質問

3人目
希望いわて
かんの
菅野 ひろのり 議員
◆奥州選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

稲作振興

問 岩手県の米生産はひとめぼれが主軸にあり、県内全般の県産米の評価を上げる役割の一つとして金色の風と銀河のしずくがあると理解しており、生産者は、栽培技術が定着しているひとめぼれの生産を求めている。県南地域では特に、特A復活のための原因解明と対策、それに伴う再評価が求められている。ブランド米においては、金色の風の倒伏対策などの品種改良、さらなる作りやすさや収量の増加が求められている。ブランド米の位置づけ、ひとめぼれの生産の取り組み、今後の県産米の販売戦略について伺う。

答 本県の米生産において、ひとめぼれは作付面積の約6割を占める主力品種であり、日本穀物検定協会の食味ランキングで「県南ひとめぼれ」が特Aを23回取得するなど、本県を代表する主食用米の品種である。ひとめぼれは食味ランキングで近年A評価等とされていることから、今年度は適期の田植えや気温変動に応じた水管理、**リモートセンシング技術**を活用した適期の稲刈りなどの指導を徹底してきた。また、いわてのお米ブランド化生産・販売戦略に基づき、米卸売業者などと連携した販路開拓や輸出促進、生活スタイルに合わせた中食・外食などへの販路開拓に取り組んでいく。引き続き、本県の主力品種であるひとめぼれ、フラッグシップとなる金色の風、銀河のしずくなど、県産米の高品質・良食味米生産などによる売れる米づくりとともに、ブランド化による消費拡大に積極的に取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 達増県政
- 2 子育て支援
- 3 海外戦略
- 4 物価高騰への対応 ほか

10/17(火) 一般質問

1人目
いわて新政局
ささきともかず
佐々木 朋和 議員
◆一関選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

地方ローカル線の利用促進

問 JR東日本は輸送密度1,000人未満の本県関係6路線10区間について、当面、国主導の**再構築協議会**の設置を要請しない方針であるとの報道があった。

県として、JR路線の様々な利用促進策を打ち出しながら、事業者側にもダイヤの見直しや老朽化対策、電子マネー対応、Wi-Fiの設置など、利用促進のための設備投資も促すべきと考える。県の地方ローカル線に対するスタンス、今後の方向性について伺う。

答 令和4年11月にはJRローカル線維持確保連絡会議を開催し、国鉄改革からの経緯を踏まえ、国やJR東日本が当事者として鉄道を維持していくべきこと、県及び沿線市町が連携を強化して、さらなる利用促進に向けた取り組みを実施していくことについて、沿線市町と認識を共有したところである。

県では、今年度新たに沿線市町などが実施する利用促進策に対する補助制度を創設し、定期券・回数券の購入支援、モデルツアーの実施、プロモーション動画の作製などの事業が展開されている。さらには、サイクルトレインや貨客混載の導入、企画列車の運行など、様々な取り組みについて沿線自治体首長会議などの場を通じ沿線市町と議論している。

また、地方ローカル線の利用促進には、利便性の向上が重要と認識しており、毎年実施しているダイヤ改正要望に加え、Suica(スイカ)の導入エリアの拡大など、必要な設備投資についてもJR東日本に働きかけていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)第2期アクションプラン及び第2期岩手県ふるさと振興総合戦略の推進
- 2 物価高騰対策
- 3 第一次産業の振興
- 4 岩手の教育課題 ほか

2人目
希望いわて
おおくぼたかのり
大久保 隆規 議員
◆釜石選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

令和版、三陸・海の博覧会の開催構想

問 観光誘客にとどまらない交流人口拡大策として、令和版、三陸・海の博覧会の開催を提案する。三陸の海がもたらす恵みや地域に与える大きな可能性を再認識し、全国に発信することで、沿岸自治体が持続可能性のある都市として再生するための起爆剤となり、沿岸の交流関係人口の増加に向けた大きな礎になるであろう令和版、三陸・海の博覧会の開催構想について、率直に知事の所見を伺う。

答 平成4年度に開催した「三陸・海の博覧会」は、目標を上回る200万人余の入場者数を記録し、その際に生じた剰余金はさんりく基金に引き継がれ、三陸地域の振興に今も活用されている。当時は東北新幹線や東北自動車道の整備が後押しとなって開催されたが、現在は復興の成果として三陸沿岸道路の整備や全線163kmの三陸鉄道リアス線の運行など、新たな時代にふさわしい基盤ができています。

県では、令和元年度に、復興に力強く取り組む姿を発信するため、復興の成果を生かした三陸防災復興ゾーンプロジェクト2019を開催し、その目指す姿や取り組みは三陸防災復興ゾーンプロジェクトに継承されている。

三陸地域における新たな大型イベントの開催は、ゾーンプロジェクトの趣旨をさらに発展させるもので、一定の収益を上げ、活用できれば、将来の三陸地域の振興に資するものである。初めて提案いただいたアイデアであり、県民や関係機関などの意見も伺いながら、三陸地域の将来について考えていきたい。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 GX(グリーントランスフォーメーション)
- 2 港湾振興
- 3 ALPS処理水
- 4 原油価格・物価高騰対策 ほか

用語解説

▶**パートナーシップ構築宣言(6ページ)**…企業が取引先と共存共栄関係を築くため、企業規模の大小にかかわらず、発注者の立場で自社の取引方針を宣言する取り組み。

▶**リモートセンシング技術(7ページ)**…物を触らずに調べる技術。例えば農業分野では、無人航空機(ドローン)を使ってほ場を撮影し、専用のソフトウェアで分析することで、水稻の生育状況を簡単に把握する技術が確立されている。

▶**再構築協議会(7ページ)**…利用者的大幅な減少などにより、大量輸送という鉄道の特性を生かした旅客運送サービスを提供し続けることが困難な区間について、鉄道輸送の維持・高度化やバス等への転換のいずれかにより持続可能性の向上を図るための方策を話し合う場。自治体または鉄道事業者からの要請に基づき国が設置する。

子ども向けパンフレット「こんにちは県議会」のご案内

県議会では、議会の役割や仕組みなどをわかりやすく説明した子ども向けのパンフレットを作成しています。パンフレットは県議会のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。ダウンロードも可能です。



10/17(火) 一般質問



3人目
自由民主党
まつもと たけし
松本 雄士 議員
◆滝沢選挙区

各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



特別支援教育における就労支援

問 特別支援教育では、就労の選択肢を広げるため、さらなるキャリア教育等の充実が重要である。また、現在、民間企業の障がい者法定雇用率は段階的に引き上げられ、助成金の新設や拡充が決定されており、この機会に特別支援学校との連絡協議会への参加企業の拡大を図るとともに、就労サポーター制度の推進や技能認定会などの活動を活発化させていく必要がある。卒業後を見据えたキャリア教育をどのように充実させていくのか。また、特別支援学校と企業との連絡協議会への参加促進のための取り組みについて伺う。

答 特別支援教育は、子どもたちの持てる力を高め、生活や学習上の困難さを改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもので、共生社会の形成の基礎となるものである。特に特別支援学校高等部では、一定の集団での活動や作業を中心に生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や自立に必要な事柄を総合的に学習している。特別支援学校と企業との連絡協議会については、企業側の理解促進と生徒の実習や雇用機会の拡充を目的に、平成23年度に盛岡と久慈の2地区に立ち上げ、現在は9地区で117企業の協力を得ながら様々な取り組みを進めている。今後、より多くの企業の参画が得られるよう、協力企業の募集案内に加え、商工労働観光部で実施している雇用促進セミナーなど、企業が集まる機会を捉えて参加を募るなど、特別支援教育における就労支援の一層の充実に努めていく。



特別支援学校での企業説明会の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 農業振興
- 2 中小企業の経営支援
- 3 子育て支援
- 4 地域公共交通 ほか

決算特別委員会のあらまし

決算特別委員会は、一般会計や特別会計などの決算が議会で提出された際、その審査のために開催されます。今年度は、10月23日から11月1日まで開催され、審査が行われました。

委員長には柳村一委員（希望いわて、滝沢選挙区）、副委員長には佐々木宣和委員（自由民主党、宮古選挙区）が選出され、決算の内容や関連する施策の取り組み状況などについて、活発な議論が交わされました。

令和4年度一般会計の決算額は、歳入が約8,987億円(対前年度比9.9%減)、歳出が約8,459億円(同10.0%減)です。

審査の結果、一般会計については、次の附帯意見を付し、原案どおり認定され、その他の各会計の決算や関連議案は、原案どおり認定、可決されました。



一般会計 附帯意見

東日本大震災津波や新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残る中、原油価格・物価高騰、賃金上昇への対応など、本県経済は厳しい状況に置かれている。

このような中、県においては、引き続き県民に寄り添いながら支援を継続するとともに、県内の中小企業、農林水産業をはじめとした全ての分野で、賃上げや物価高騰に対応できるよう効果的な支援策を講じ、県民生活の安定化に努められたい。

人口減少は県民生活に大きな影響を及ぼしており、人口の自然減、社会減の克服に結び付けるため、令和4年度事業の成果及び効果の更なる検証に努められたい。

また、県が抱える課題の多くは、人口減少に起因するものであり、出生数の向上や、若者の定住化に向けた子育て支援や女性の社会減対策等、諸施策に国や市町村と一層の連携を図りながら取り組まれたい。

さらに、医療環境や教育環境等、人口減少の影響を受けるあらゆる分野において適正かつ安定的な環境整備に努められたい。

厳しい財政状況にある中で、山積する課題に対応していくためには、県財政の健全化が重要である。今後も安定的な財政運営を進めるため、産業振興による県税収入の確保、使用料の見直し、遊休資産の活用、他会計からの繰り入れ等、あらゆる歳入確保策に積極的に取り組まれたい。

また、これまでの事務事業の効果を検証し、見直しを行うとともに、課題解決に向けた新たな事業の創出にも努められたい。

支出金額の誤りなどの不適切な事務の発生報告が一向に減少していないことや、入札ミスによる損害賠償事件が発生していることから、内部統制を見直し、必要な執行体制の確保にも留意しながら、適切な事務の執行に努められたい。

東日本大震災津波復興特別委員会が設置されました



委員会の様子

9月22日に、改選前に引き続き、議長を除く全議員47人で構成する東日本大震災津波復興特別委員会が設置されました。

同日開かれた委員会では、委員長に岩崎友一委員（自由民主党、釜石選挙区）、副委員長に柳村一委員（希望いわて、滝沢選挙区）が選任されました。

現地調査

11月15日は宮古市・山田町および大槌町・釜石市、17日は陸前高田市・大船渡市および久慈市・野田村において、被災地における復興の取り組みや被災者支援の取り組みの状況などを調査するための現地調査を行いました。

現地調査の際にいただいた貴重な御意見、御要望などは、今後の復旧・復興施策に反映させるよう取り組んでいくこととしています。



NPO法人みやっこベースでの調査の様子(宮古市)



大槌町での調査の様子(大槌町)
※大槌町震災伝承ARアプリで撮影



県立陸前高田オートキャンプ場での調査の様子(陸前高田市)



野田村漁業協同組合での調査の様子(野田村)

若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、9月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立産業技術短期大学校 **高橋 未希** さん

若者に向けたポスターということで、これを見た学生が少しでも県議会に興味を持つきっかけになってくれたらと思い制作しました。自分の身の回りのことなど、今まで知らなかったことに耳をすませて、世界を広げてほしいという思いが伝わってくれば幸いです。



県議会からのお知らせ

●インターネット中継

県議会ホームページでは、**本会議や予算・決算特別委員会のライブ中継のほか、録画中継も行っています**ので、ぜひご覧ください。



●岩手県議会公式チャンネル(YouTube)

一般質問等のほか、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」をYouTubeで配信しています。公式チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル

検索

●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」総集編

一般質問の様子を**3分程度にまとめた番組**を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビの各放送局で質問当日の18時50分台に放送します。

また、一般質問が終わった翌々週の土曜日、10時から12時までの間に「**きょうの県議会総集編**」をテレビ岩手で放送します。令和5年度からは字幕および手話通訳を付ける取り組みを行っています。 ※放送時間に変更になる場合があります。